



立川第八中学校

宇宙船

平成29年度 第7号

URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh08/>

〒190-0013 立川市富士見町7-24-1 TEL(042)526-2007 FAX(042)529-1180

立川市立立川第八中学校長 川崎 達也

温故知新そして不易と流行

10月28日(土)、あいにくの雨でしたが、清水庄平市長・伊藤幸秀市議会議長をはじめとして多くのご来賓をお迎えして創立40周年記念式典・祝賀会を催すことが出来ました。地域の皆様がこよなく本校を愛し、大切にしていってくださることが伝わってくる式でした。

そして生徒の皆さんが清掃活動を含めた準備やお客様の案内など、たくさん協力をしてくれたことに改めて感謝します。またPTA役員の方々を中心に、多くの保護者の皆様が準備の段階や当日に多大なご理解とご協力をしてくださったことに改めて御礼申し上げます。

式典の折りに多くのご来賓の方々から子供たちの態度や姿勢をお褒めいただくお言葉をたくさんいただきました。「やらされている」のではなく、主体的に「やる」という点を評価していただいたことが何よりも嬉しいことです。

さて本校創立から40年、最初の卒業生は55歳になります。式典の際に、温故知新という孔子の言葉についてお話ししました。「子曰く、故きを温ねて、新しきを知れば、もって師と為るべし」、「昔のことをよく学び、そこから新しい知識や見解を得る」という意味です。先日、朝刊にこの様な文が載っていました。

この文章を読んで、「全然」という言葉の使い方を思い出しました。「ぜんぜん」はずっと否定文にしか使わないと思っていたのですが、肯定文にもOK・・・当初違和感があったのですが、いつの間にか疑問に感じなくなっています。時代はどんどん変化しているんですね。皆さんはこの40年という時

読売新聞「編集手帳」2017.10.08朝刊
◆清少納言はどんな人だったのだろう。「枕草子」で述べている。「いやしきことも、わるき事もさと知りながら、ことさらに言ひたるは、あしうもあらず」◆おそれながら拙訳を。「品のないことばも、みっともない言葉も、本人が分かって使う分には、別にいいんじゃない」若い人らの話がわかる国語の先生を想像してしまふ。◆来年一月「広辞苑第七版」が発売される。約一万語が新たに加わり、「ちやらい」もその一つ。と聞けば、お口に合わない方もおいでだろう。先生に反発を禁じえないものの、新語や日本語の変化にはなごむ場合もあるから不思議である。◆国語学者の金田一秀穂さんが、「花に水をあげる」が好例と言っている。本来は「花に水をやる」だが、それだとまるで乱暴に水をまくような印象もある。丁寧さの表れと解釈すれば、「花に水をあげる」でもいいのではないかと(文藝春秋「日本語大好き」から)◆やさしい気持ちのこもる「あげる」である。文法上は間違いないとしても「別にいいんじゃない」派に引き寄せられてしまふ。今度使ってみようかな。でも、ちやらいはちよつと。

間の流れの中で先輩たちが残した多くの歴史に新たな1ページを加えていくことになります。出来ればそのページは明るい方が良いですね。「不易と流行」・・・変わってはいけないものと変わらなければならないものをしっかりと見極めて、歴史を重ねていってほしいと願っています。

文化祭から学ぶこと

10月25日に、RISURUホールで文化祭の合唱コンクールと舞台発表が開催されました。大きな舞台上で立派に自分の主張をする姿や合唱コンクールでの素晴らしい歌声の披露は、皆さん同士だけではなく、ご来場いただいたご来賓の方々や多くの保護者の皆様など大人にも感動をもたらしてくれました。本当に素晴らしいものでした。その時の様子は、各学年の学年だよりや学級だより詳しく掲載されています。



今学校はものすごくタイトな時間の中で様々な活動を行っています。今回もなかなか練習時間を確保することが出来ない中で準備を行ってきました。どのクラスも優秀賞を目指し練習を重ねてきたはずですが、もちろんその過程では「声が出ない」「ハーモニーが揃わない」、もしかしたら「いさかい」・・・そんなこんな様々なドラマがあったことでしょう。でも、それを乗り越えて素晴らしい合唱を披露することができたのは、ベースにクラスのみならず「友達だから」「仲間だから」という目に見えない心のつながりがあったからだと思います。

コンクールですから優劣が付きます。もちろん勝ったクラスは喜び倍増ですね。でも勝てなかったクラスも「勝ち負け」では推し量れないものをつかんだのではないのでしょうか？それは決して普通の生活をしているだけでは味

味わえません。もちろん一人では絶対に味わえません。仲間と共に同じ目標に向かって、力を合わせて様々な困難を乗り越えたという経験をしたからこそ感じる事ができたものです。ぜひ今回の合唱コンクールで味わった「何か」を心の財産として大切にしてほしいと願っています。なぜならその「何か」は、仲間と共に頑張った君達だけにしか分からないものですから。

文化祭展示関係

文化祭の展示期間は10月7日(土)～11月10日(金)です。生徒のこれまでの学習の成果が発揮されていたと思います。たくさんの保護者の方に来校していただきありがとうございます。



合唱コンクール・舞台発表(10月25日) たましんRISURUホール

第40回合唱コンクール・舞台発表の文化祭が25日に行われました。クラスの合唱に続き、私の主張の発表、英語スピーチ、PTA合唱、吹奏楽部の演奏など日頃の学習活動の成果を発表することができました。たくさんの保護者、地域の方に参観していただきありがとうございました。



私の主張発表・小泉 開星くん(1年)「心によって動く世界」・野口 美陽さん(1年)「大人とは・・・」
 ・水谷 夏希さん(1年)「きれいな街へ」・真宗 希実さん(2年)「和食を世界へ次世代へ」
 ・中村 彩音さん(3年)「自分の意思」・小野寺 亜季さん(3年)「忘れてはいけないこと」
 ・窪寺 春樹くん(3年)「加速する競争と優劣」

英語スピーチ

- ・1年生：葛城 祐くん、松村 愛唯さん、荒品 亜衣さん、遠藤 こ桃さん
 片山 紗萌さん、白崎 ゆなさん
- ・2年生：海老澤 愛佳さん、椿 大弥くん、斉藤 有沙さん、麻生 勇弥くん
- ・3年生：小嶋 夏美さん、高野 里菜さん、朝倉 光一くん、前田 莉歩さん

創立40周年記念式典・祝賀会の様子(10月28日)



創立40周年記念式典・祝賀会が10月28日(土)、本校体育館で行われました。式典では校歌「光の川」の歌詞の意味に触れ、会場の皆さんで歌いました。また祝賀会では、富士子連親子隊によるよさこいソーランや八中吹奏楽部OB会による演奏などが行われました。地域の皆様には温かく創立四十周年をお祝いいただき、本当にありがとうございました。

【11月の行事予定】

- ・1日(水)～9日(木)三者面談(3年)
- ・8日(水)新入生保護者説明会
- ・12日(日)立川市総合防災訓練
- ・18日(土)東京駅伝結団式、第1回練習会(立川六中)
- ・25日(土)生徒会サミット(立川市役所)
- ・20日(月)～22日(水)期末考査
- ・29日(水)PTA運営委員会